

首都大学東京 理工学研究科 物理学専攻

2017(H29)年度 大学院履修ガイダンス

日時：2017年4月4日(火)

場所：11号棟102室

昨年度教務委員 慈道大介

大学院教務



このスライドは物理教室のHPに置いてあります：

「在学生へ」→「大学院教務」→「大学院履修ガイダンス資料」

目次

- 教員からの連絡方法
- 履修に関する説明
- 研究支援制度
- ティーチングアシスタント（T A）制度
- 英語教育・グローバル化推進
- 学生のための相談室
- アナウンス

履修などの相談窓口

1. 専攻主任 首藤啓 8号館 518室 内線3351
2. 教務委員 角野秀一 8号館 532室 内線3363

教員からの連絡方法

掲示：

物理事務室（8号館222号室）前掲示板

補助的に

- ・ 理工学系 掲示板（8号館と9号館をつなぐ渡り廊下 1階）
- ・ 物理教室ホームページ <http://www.phys.se.tmu.ac.jp>
の大学院教務ページ（集中講義の案内など）



メール：

大学（情報処理施設）から提供されるメールアドレスを利用

(****@ed.tmu.ac.jp)

転送設定を忘れずに

教員のメールアドレス（*family_name*@phys.se.tmu.ac.jp）

メール転送設定方法

(1) 情報処理施設のサイト
(www.comp.tmu.ac.jp)で利用者メニュー
をクリック

(2) 利用者メニューでログイン→
画面左側の電子メール転送設定を
クリック

The screenshot shows the TMUNER website interface. At the top, there is a banner with the TMUNER logo and the text "首都大学東京 教育研究用情報処理システムの総合案内サイト". Below the banner, there is a navigation bar with a search box and links for "お問い合わせ" and "サイトマップ". A green arrow points to "はじめての方へ". A hand icon points to a notice box containing the text: "大学教育センターから情報倫理に関するお知らせ：学生は必ず一読し、リンク先の注意を守るようにしてください。". Below this, there is a section titled "■重要なお知らせ■" with three entries: "16.3.28 【重要】年度更新対応に伴う利用者メニュー停止及び新規ID作成不可について", "16.2.22 【注意喚起】仮想デスクトップ環境への接続時に発生する不具合のお知らせ", and "16.2.15 教育研究用情報システム 利用者アンケートのご案内". At the bottom, there are several menu items: "システムの利用方法" (with sub-items "メール利用方法" and "WEB利用方法"), "教室・授業" (with sub-items "kibaco eラーニング" and "パソコン教室"), and "利用者メニュー【ログイン】パスワード変更など" (circled in red), and "Webメール".

メール転送設定方法

(3) メール転送先を入力し OK をクリック

(注意) ¥の文字は2つ
(yen又はback slash)の
キーのどちらでも同じ

利用者情報

ユーザーID: jido

[パスワード変更](#)

[利用者情報](#)

[個人情報表示](#)

[電子メールの転送先設定と解除](#)

[アンケート回答申請](#)

[パスワード再設定用メールアドレス登録](#)

[ログオフ](#)

電子メールの転送先設定と解除

メール転送先1	<input type="text" value="\jido"/>
メール転送先2	<input type="text" value="jido@*****.ne.jp"/>
メール転送先3	<input type="text"/>
メール転送先4	<input type="text"/>
メール転送先5	<input type="text"/>

転送先のアドレスを5つまで設定できます。(サーバーにメールを残さないで転送)

<サーバーにメールを残して転送する場合>

メール転送先1~5のどれか1つに、¥ (半角) * +ご自身ユーザーIDを設定してください

*¥ (半角) *は、ブラウザによって、"円記号"や"バックスラッシュ"で表示されることがありますがどちらで設定しても問題はありません

*ご自身の大学のメールアドレスは入力しないでください

<サーバーにメールを残して転送する場合の設定例>

ユーザーIDが"tmuner"の場合

メール転送先1~5のどれか1つの項目に「\tmuner」と入力

OK

RESET

履修に関する説明 (1/4)

● 修了 (学位取得) 条件

修士学位：2年（最大で4年）	30単位 + 修士論文
博士学位：3年（最大で6年）	20単位 + 博士論文

- 補足： 1) 詳細は「大学院履修案内・授業概要」(紫本)を参照
2) 学位論文：論文提出および最終試験（＝論文の発表と審査）
3) 修士学位論文（英語または日本語）
博士学位論文（英語）
4) 主要な研究成果が学術雑誌に掲載または掲載確実（博士）
5) 必修科目が16単位、残りを通常授業や集中講義で取る
修士：14単位 博士：4単位

修士論文

2年間における研究の集大成。そして、次へのステップ。

博士前期課程における教育研究上の目的

1. 物理学に関する研究を進めるために必要な**基礎的な知識**の他、**論理的な思考法、実践的な研究方法**を修得する。
2. 物理学の各分野において、自らあるいは指導教員の指導の下に研究課題を設定し、**問題を解決して研究を遂行する能力、論理的に論文を構成して研究成果を発表する能力**を修得する。
3. 他の研究者と**討論できる能力、研究の成果を広く伝える能力**を修得する。

修士論文発表会（2年生時1月下旬）

□頭発表17分 + 質疑応答8分

履修に関する説明 (2/4)

● 必修科目

修士課程：物理学特別セミナー、
物理学特別演習(理論系)、物理学特別実験(実験系)

博士課程：物理学特別演習(理論系)、物理学特別実験(実験系)

補足：

- 1) 修士論文、博士論文のための研究・セミナーに対して単位が出る
(講義はないが、大学に出てきて指導教員と研究をすることが必要)
- 2) 標準履修課程に基づき必ず前期と後期に履修する
- 3) 休学・留学等で標準履修課程から外れる場合は、指導教員・教務委員と相談する

標準履修課程

修士1年（理論系）：

物理学特別セミナーⅠ（前期）、Ⅱ（後期）

物理学特別演習Ⅰ（前期）、Ⅱ（後期）

修士1年（実験系）：

物理学特別セミナーⅠ（前期）、Ⅱ（後期）

物理学特別実験Ⅰ（前期）、Ⅱ（後期）

博士1年（理論系）：

物理学特別演習Ⅴ（前期）、Ⅵ（後期）

博士1年（実験系）：

物理学特別実験Ⅴ（前期）、Ⅵ（後期）

履修に関する説明 (3/4)

- **開講科目** (平成28年度より新しいカリキュラム)

基礎から研究の最前線まで、充実した講義内容

二単位科目 (分野共通の基礎科目、15コマ=[14+1]、博士課程は履修不可)

素粒子物理学、一般相対論、場の理論、原子核物理学、統計物理学、流体力学、計算物理学、原子物理学、宇宙物理学、物性物理学 I,II、粒子線物性

一単位科目 (専門分野の科目、8コマ=[7+1]、一部集中講義*)

素粒子物理学特論*、高エネルギー理論物理学特論、原子核・ハドロン物理学特論、高エネルギー宇宙物理学特論 I,II、非線形物理学特論、統計力学特論、量子多体系特論、超伝導物理学特論、磁性物理学特論*、高エネルギー物理学特論 I*,II、原子物理学特論 I,II、宇宙物理学特論 I,II、電子物性特論 I,II、ナノ物性・表界面物性特論 I,II、ソフトマター物性特論 I,II、粒子ビーム物性特論 I、物質科学ミニマム、物理実験学特論 A,B,C,D、科学英語特論

集中講義 (一単位 8コマ、物理学特別講義・物理化学特別講義)

学外から講師を招き、国内の最先端研究動向を基本事項から解説
8コマを3日間程度で集中的に講義。毎年10講義程度を提供。

29年度集中講義 開講予定

- 高橋 博樹 氏（慶應大学）6月下旬
「Ergodic theory of low-dimensional differentiable dynamics（仮）」
- 柳瀬 陽一 氏（京都大学）7月
「トポロジカル超伝導体の基礎（仮）」
- 小鍋 哲 氏（東京理科大学）11月頃
「ナノカーボン・原子層材料におけるエネルギー変換の物理（仮）」
- 野島 勉 氏（東北大学）11月下旬か12月上旬
「薄膜・界面における2次元超伝導」
- 竹内 一将 氏（東京工業大学）後期
「吸収状態転移の物理（仮）」

- 今後講義は適宜追加の予定
- 開講日時は掲示板・HPに提示
（メールでも周知）
- 履修は授業開始7日前までに「履修申請書」を理工学系事務室に提出

など、年間約10講義を予定

平成29年度大学院授業時間割

首都大学東京 理工学研究科 物理学専攻

()内は授業番号

	① 8:50~10:20			② 10:30~12:00			③ 13:00~14:30			④ 14:40~16:10			⑤ 16:20~17:50			⑥ 18:00~19:30		
	授業科目	担当	教室	授業科目	担当	教室	授業科目	担当	教室	授業科目	担当	教室	授業科目	担当	教室	授業科目	担当	教室
月				素粒子物理学(前) (R106)	安田	11-102	粒子線物理学(前) (R112)	門脇	8-304									
				流体力学(後) (R104)	*佐野	11-301	① 超伝導物理学特論(後a) (R145) ② (R146)	堀田	8-304									
							① 物理学特別講義Ⅰ (R159) ② (物理実験学特論D)(後b) (R160)	東	8-301									
火				物理学特別講義Ⅱ (原子物理学)(前) (R108)	田沼	11-202	① 物理実験学特論A(前a) (R171) ② (R172)	青木	11-103									
				物理学特別講義Ⅱ(化学特論Ⅵ) (R167)	波田・	8-302	① 物理実験学特論B(前b) (R937) ② (R938)	門脇	11-103									
				① 分子の理論と計算(前) (R168) ② 高エネルギー理論物理学特論(後) (R099) ③ a) (R100)	中谷 ケトフ	8-301	① 統計力学特論(前b) (R117) ② (R118)	森	8-302									
							① 物理学特別講義Ⅰ (R137) ② (ナノ・表面物理学特論II)(後a) (R138)	柳	8-300									
水	物理学特別講義II(化学特論VI)系 の物理化学(前) (R165) (R166)	加藤・堀池 坪村・泉玉	11-103	物理学特別講義Ⅱ (物理物理学Ⅰ)(前) (R109)	宮田	11-102	① 量子多体系特論(前a) (R115) ② (R116)	服部	8-304	① 原子物理学特論II(後a) (R155) ② (R156)	田沼	8-301	計算物理学(後) (R114)	首藤	情報-113			
	物理学特別講義Ⅱ(化学特論Ⅶ) V.分子物性化学(後) (R163) (R164)	城丸	11-101	物性物理学Ⅱ(後) (R111)	松田	11-102	① 科学英語特論(前b) (R139) ② (R140)	森	11-201									
							① 物理学特別講義Ⅰ (R161) ② (物理実験学特論C)(後a) (R162)	田沼	8-301									
木				① 物理学特別講義Ⅰ (物理科学ミニマム特論)(前a) (R110) (R113)	真庭	8-301	原子核物理学(前) (R105)	慈達	11-202									
				一般相対論(前) (R101)	ケトフ	11-201	① 原子核・ハドロン物理学特論(後a) (R125) ② (R126)	慈達	8-301									
				① 物理学特別講義Ⅰ (R125) ② (ソフトマター物性特論II)(後a) (R126)	栗田	8-302	① 電子物性特II(後a) (R135) ② (R136)	水口	8-304									
金				場の理論(前) (R103)	ケトフ	11-201	統計物理学(前) (R102)	服部	11-201									
				宇宙物理学(後) (R107)	石崎	11-202	① 宇宙物理学特論II(前a) (R129) ② (R130)	大橋	8-301									
							① 高エネルギー宇宙物理学特論II (前b) (R133) (R134) ② (R141) ③ (R142)	政井 首藤	8-301									
土																		

その他	物理学特別セミナーⅠ～Ⅳ、物理学特別実験Ⅰ～Ⅳ、物理学特別演習Ⅰ～Ⅳは博士前期課程対象。前・後期開講であるが、通年開講ではなく、いずれか半期のみである。授業番号は次のとおり。 物理学特別セミナーⅠ(R173)、物理学特別セミナーⅡ(R174)、物理学特別セミナーⅢ(R175)、物理学特別セミナーⅣ(R176)、物理学特別実験Ⅰ(R177)、物理学特別実験Ⅱ(R178)、物理学特別実験Ⅲ(R179)、物理学特別実験Ⅳ(R180)、物理学特別演習Ⅰ(R181)、物理学特別演習Ⅱ(R182)、物理学特別演習Ⅲ(R183)、物理学特別演習Ⅳ(R184)																	
	物理学特別実験Ⅴ～Ⅷ、物理学特別演習Ⅴ～Ⅷは博士後期課程対象。前・後期開講であるが、通年開講ではなく、半期のみである。授業番号は次のとおり。物理学特別実験Ⅴ(R185)、物理学特別実験Ⅵ(R187)、物理学特別実験Ⅶ(R187)、物理学特別実験Ⅷ(R188)、物理学特別演習Ⅴ(R189)、物理学特別演習Ⅵ(R190)、物理学特別演習Ⅶ(R191)、物理学特別演習Ⅷ(R192)																	
集中授業	① 物理学特論Ⅰ ② 物理学特論Ⅱ ③ 素粒子物理学特論(前期) (R097) (R098) ④ 磁性物理学特論(後期) (R123) (R124)	安田 *上田	① 物理学特別講義Ⅰ ② 物理学特別講義Ⅱ ③ 物理学特別講義Ⅰ ④ 高エネルギー物理学特論II(後期) (R121) (R122)	*未定	放射線実験法Ⅰ(前) (R005) (R006) 放射線実験法Ⅱ(前) (R007) (R008) 理工学横断セミナー1 (R816) (R817) 理工学横断セミナー2 (R818) (R819)	非開講 非開講	① 理工学特別講義Ⅰ ② 理工学特別講義Ⅱ	その他	① 物理学学外体験実習 ② 物理学学外体験実習									

注意: 特別セミナー、特別実験、特別演習のⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳは博士前期課程1、2年を、Ⅴ・Ⅵ・Ⅶ・Ⅷは博士後期課程1、2年を対象とする。
 ○印は博士後期課程の授業
 前期a: 4月10日～5月23日(月・火)、4月12日～6月2日(水・木・金) 前期b: 6月5日～7月24日(月)、6月6日～7月20日(火・水・木)、6月9日～7月28日(金) 試験期間: 7月31日～8月11日
 ①は1単位の科目 後期a: 10月2日～11月14日(月・火)、10月4日～11月24日(水・木・金) 後期b: 11月27日～1月22日(月)、11月28日～1月16日(火)、11月29日～1月26日(水・木・金) 試験期間: 1月29日～2月9日

2016年度大学院集中講義開講一覧

問い合わせ先のメールアドレスは、@の後ろに phys.se.tmu.ac.jp を付け加えたものです。

物理学特別講義 | (1単位)

講師	神田展行 氏 (大阪市立大学理学研究科)
題目	重力波観測の基礎 (仮)
日時	H28年7月半ば頃
授業番号	未定
担当	住吉 (3364, sumiyoshi@)

物理化学特別講義 | (1単位)

講師	寺崎一郎 氏 (名古屋大学理学研究科)
題目	酸化物強相関電子系の機能性材料
日時	H28年7月19,20日
授業番号	未定
担当	青木 (3362, aoki@)

物理学特別講義 | (1単位)

講師	田中耕一郎 氏 (京都大学大学院)
題目	光物性物理学 (仮)
日時	夏頃
授業番号	未定
担当	柳 (3247, yanagi@)

物理学特別講義 | (1単位)

講師	保坂淳 氏 (大阪大学核物理研究センター)
題目	ハドロン物理ー基礎からエキゾチックな現象までー (仮)
日時	H28年12月7,8,9日
授業番号	未定
担当	住吉 (3364, sumiyoshi@)

Departn
PHYS
物理学
物理学

Departn
PHYS
物理学
物理学

Departn
PHYS
物理学
物理学

Department of
PHYSICS
物理学コース
物理学専攻

ホーム

研究

教育

入試

教員・研究室

アクセス

所在地 東京都八王子市南 電話番号 042-677-1111	所在地 東京都八王子市南 電話番号 042-677-1111	所在地 東京都八王子市南 電話番号 042-677-1111	所在地 東京都八王子市南大沢1-1 電話番号 042-677-1111 (代表)
首都大学東京大学 物理学コース 物	首都大学東京大学 物理学コース 物	首都大学東京大学 物理学コース 物	首都大学東京大学院理工学研究所 物理学コース 物理学専攻

▶ 在学生へ

▶ 内部教員へ

主な研究支援制度

● 学術振興会、文科省

- 学術振興会特別研究員（博士課程、研究奨励金）
例年数名採用
- トビタテ！留学JAPAN 日本代表プログラム（海外派遣）

● 首都大（主なもの。海外派遣支援はA3の紙を参照。）

- 大学院研究奨励奨学金（博士課程、奨学金）
学振不採用者から選抜。月15万円の奨学金。
- 大学院研究支援奨学金（博士課程、奨学金）
全学の制度。選抜。学費の半分程度を支援。
- 理工学研究科大学院生学術会議派遣（国際会議参加）
申請書を自ら書き研究をアピール。M1から応募可能。
- 大学院生国際学術会議派遣支援事業（博士課程、国際会議参加）
国際センターの制度。国際会議参加のための旅費を支援。
- 派遣留学生経済支援制度（海外派遣）
3ヶ月以上6ヶ月未満の期間、海外の研究機関で研究を行う。M1から応募可能。

ティーチングアシスタント（TA）制度

修士・博士課程院生が学部教育の補助業務を行い、これに対する手当を支給。
教育経験と経済支援

- 期間
前期（4-9月）、後期（10-3月）
- 仕事内容
学生実験や計算機実習の指導補助、講義・演習の質問対応、レポート採点、試験監督など
- 報酬
時給：1200円（修士）、1300円（博士）、1600円(STA)
STA（博士課程のみ）は高度な業務を含む
1 講義あたり45時間/期。実験（週2コマ）は60時間/期。
複数の講義を担当することもできるが、半期90時間が上限。
時間数は実働分（詳細は担当教員に確認）。
- 応募方法
毎年3月（前期分）と9月頃（後期分）にメールで募集。
10種類程度の業務の中から希望者が担当

英語教育・グローバル化推進

- 【科学英語特論】（1単位科目）

英語の読み書きに関する一般的注意点、科学英語特有のルールなど、覚えておくべき事項を紹介。演習の時間を設け、授業時間中にそれぞれの書いた英文を元に間違いやすい表現などを指摘していく。

- 【English Village】

理系学生のグローバル化を促進するため、一般英語講座、外国人とのコミュニケーション講座、英語プレゼン講座、科学英語ライティング講座などを一年を通して企画。

- 【海外インターンシップ体験】

English Villageの一貫として、一部の希望者のみに米国西海岸の企業や大学を訪問し、プレゼンや研究者インタビューなどを行う。

- 【派遣留学生経済支援制度】（前述）

海外研究機関での研究支援

学生のための相談室

学業・研究や学生生活で相談したいことができたら。。。。

日頃の研究活動、勉学、日常生活、人間関係、研究指導の方法などで困ったり、悩んだりしている事がありましたら、遠慮なく相談して下さい。

特に学外から進学してきた学生は、些細なことでも構いませんので、相談して下さい。

第三者の目・意見は、解決のために、とても重要です。

もちろん、相談内容は相談室以外で知らされることはありません。

- 物理学専攻「院生・学生相談室」（H29年度担当：森・青木）
counselor@phys.se....

- 理工学系人間関係相談チーム（H29年度物理担当：慈道）
jido@phys.se....
物理事務室前の掲示板を参照（他専攻の委員・女性委員）

- 学生相談室（専門家による無料相談）
http://www.gs.tmu.ac.jp/gakuseika/08_soudan/02_sodan.html



- セクシャルハラスメント及びアカデミックハラスメント相談窓口
<http://www.houjin-tmu.ac.jp/harrassement/contact.html>

学生相談室のホームページより

http://www.gs.tmu.ac.jp/gakuseika/08_soudan/02_sodan.html



相談の内容については、秘密を固く守り、プライバシーの保護をいたします。
安心してご利用ください。

こんなときに利用してください

◆ 学生生活について

- ・ 大学・大学院に馴染めない ・ サークルでのトラブル ・ 思うように勉強が進まない

◆ 進路・就職について

- ・ 将来のことで悩んでいる ・ 就職活動がうまくいかない

◆ 対人関係について

- ・ 友人関係や恋愛での悩み ・ 家族について話したいことがある

◆ 健康について

- ・ 食事のこと（食べられない、食べ過ぎる）
- ・ 睡眠のこと（眠れない、寝すぎる、悪夢を見る） ・ 体と心に違和感がある

◆ 自分のことについて

- ・ 自分について自信が持てない ・ 自分の性格が気になる
- ・ やる気が起きない、気持ちに浮き沈みがある ・ イライラすることが多い

その他、どんなことでもかまいません。

「気になること」があるとき、どうぞ学生相談室を訪ねてみてください

理論図書室の利用について

理論図書室：8号館5階520号室

物理学専攻の院生なら誰でも借りることができます。

- ・和書、洋書が多数所蔵されています。
- ・無人管理のため、皆さんの信頼に基づいて運営されています。
- ・必ず備え付けのPCにより貸し出し手続きをしてください。
- ・先輩たちが大事に使ってきた財産なので、後輩たちにも使ってもらえるように大事に使って下さい。
- ・図書資産の有効活用のため、期間内の返却をお願いします。
(卒業時の返却忘れに気をつけて下さい)

理論図書室の使い方説明会

8号館5階520号室

本日17時00分集合！

(既に説明を受けたことのある人は参加しなくてもよい。)

昨年度、システム更新をしました。

都合により欠席する人は、
指導教員や研究室の学生などに
図書の貸出・返却方法を聞いておいて下さい。

学生教育研究災害傷害保険（学研災） （保険に必ず入りましょう）

この保険は、教育研究活動中（正課・学校行事・課外活動及び通学中）の災害に対する補償制度で、急激かつ偶然な外来の事故による身体の傷害に対して保険金が支払われます。

南大沢キャンパスでは、加入手続きを学生サポートセンター学生課で随時受け付けています（任意加入）。

学生課窓口に設置してあります、学研災の「ごあんない」、あるいは（公財）日本国際教育支援協会のホームページに、本保険に関する重要な事項が掲載されています。加入に際しては、必ず確認の上、手続きして下さい。

財団法人日本国際教育支援協会

保険期間 学部生・大学院生

1年 1, 000円

2年 1, 750円

3年 2, 600円

必ず入ってください！

本日予定

1. ガイダンス (14:30-15:30)
 - ・ 専攻長挨拶
 - ・ 履修ガイダンス
 - ・ 進路ガイダンス
2. 懇親会 (15:30-16:30頃まで 8号館交流スペース)
自己紹介も行いますので、全員参加です。
3. 理論図書室の説明会
(17:00集合-17:15頃まで 8号館5階520号室)

大学院教務のページ

